

2024年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52301	保育内容総論 The childcare contents general remarks	石原美菜子	✓	専門	1	必修	1年後期

**科目の概要**

幼稚園、保育所、こども園における、保育の基本や「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に示された保育内容を総合的に学ぶ。  
また、保育内容の歴史の変遷を理解し、保育の多様な展開について具体的に学ぶことによって保育を総合的に理解する。  
「これらの内容はディプロマ・ポリシー③④⑤に相当する」  
★幼稚園・保育所で保育者としての30年の実務経験があり、保育者としての専門的知識や技術を活かした演習をおこなう。

学修内容	到達目標
① 保育内容の歴史の変遷について理解する ② 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された保育内容について理解する。 ③ 保育内容と子ども理解について理解する ④ 保育の基本を踏まえた保育内容の展開について理解する。 ⑤ 保育者としての役割について理解する。	① わが国の保育内容の歴史の流れを知り、どのように変化してきたのかを説明することができる。「(DP③)」 ② 幼稚園における教育課程・保育所における全体的な計画について具体的に説明することができる。「(DP③)」 ③ 子どもたちの姿からさまざまな発達過程を読み取った上で、補っていくべき事柄を保育内容に取り入れ、目標やねらいを立てることができる。「(DP③)」 ④ 子どもの生活全体を通して、養護と教育が一体となって展開する保育について説明することができる。「(DP③)」 ⑤ 役割を果たす保育者がいることで子育ては、子ども同士・保護者同士・地域の人々のつながり合い、社会全体で支える営みであるということ結論づけることができる。「(DP⑤)」

**学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素**      **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	自分がやるべきことは何かを見極め、自発的に取り組むことができる。
	働きかけ力	疑問等がある際には、積極的に質問をし解決することができる。
	実行力	失敗を恐れず、とにかくやってみようとする果敢さを持ち、取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	保育に関する様々な知識を情報収集ツールを活用し習得する。
	計画力	課題提出等は、計画性を持って取り組むことができる。
	創造力	固定観念に捉われることなく広い分野から情報を収集し、保育の多様な展開について幅広く考えることができる。
チームで働く力	発信力	自分が理解したことを他者にわかりやすく表現できる。
	傾聴力	他者の話を聞く中で、自分なりの意見や考えとを比較し再構築できる、
	柔軟性	他者の考えや意見を受け入れ、異なる価値観を尊重し柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	自分ができることだけでなく相手のことも考え目標に向かって協力し合うことができる。
	規律性	遅刻、無断欠席をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

**テキスト及び参考文献**

参考書：幼稚園教育要領解説書、保育所保育指針解説書、幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説書  
 テキスト：保育内容総論 あなたならどうしますか？ (株) 萌文書林  
 講師が配布するプリント・資料

**他科目との関連、資格との関連**

他科目との関連：保育原理、保育内容「健康・人間関係・環境・言葉・表現」  
 資格との関連：幼稚園教諭2種・保育士資格 准学校心理士

**学修上の助言**      **受講生とのルール**

<ul style="list-style-type: none"> <li>保育内容総論は、他科目と内容が重複している為、双方を共に学んでいくと良い。</li> <li>学びを实践に結びつけていく為、保育者として現場を想定し保育観を構築できるよう努めること。</li> <li>講義ノートは細目にとり、配布プリントと共に整理し、まとめておくこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育士としてあるべき姿を理解し、講義中はしっかりと意志表示をし受講してください。</li> <li>講義中の態度、睡眠・私語・飲食・化粧は学ぶ意欲がないとみなし、退室となった場合には欠席とみなすことがあります。</li> <li>予習・復習をして授業に臨み理解を深めましょう。</li> <li>携帯電話や私物など講義に必要な物はカバンの中に入れてください。</li> </ul>
---	---

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①			
			②			
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト	20	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園、保育所、こども園で展開される保育内容にはどのようなものがあるのか、それは、子どもの発達にとってどのような意義を持つのか、また、個々の保育内容はどのような方法によって実践されるのかについて理解しているかどうかを評価する。</li> <li>2点×10問</li> </ul>
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
		レポート	30	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学修した日に復習として演習ワーク（1～14までの課題）を行う。1点×14問</li> <li>・提出が遅れた場合は、1項目につき0.5点</li> <li>・保育者としての心構えがしっかりと理解できているかどうかを評価する。10点満点</li> <li>・DVDを視聴し感想を書く。3点</li> <li>・子どもの活動についてグループディスカッションの内容を書く3点</li> </ul>
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	40	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学修記録ノート：随時学んだ内容を項目ごとにまとめる。演習ワークを提出し、返却後はノートに貼り付ける。</li> <li>・学修記録ノートは、中間と学期末に提出する。10点満点×2</li> <li>・保育で実践できる折り紙制作アイデアを制作する。5点満点</li> <li>・各グループの事例発表内容を自分の見解を含めて書く。10点満点</li> <li>・子どもの活動についてグループディスカッション内容を発表する5点</li> </ul>
				②	✓	
				③	✓	
				④	✓	
				⑤	✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体性：積極的に授業に取り組むことができる。</li> <li>実行力：自分で決めたことは最後までやり切ることができたか評価する。</li> <li>課題発見力：現代の子育て状況の理解から課題を見極められたか評価する。</li> <li>創造力：作品制作では、既存概念に捉われないこと、いろいろな発想のもと工夫して作り上げることができる。</li> <li>発信力：課題発表では、発表の仕方を工夫し、クラス全体にわかりやすく発表することができる。</li> <li>傾聴力：「あいづち」や「うなづき」など話を聞く姿勢ができています。</li> <li>規律性：遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行できるようルールをまもることができる。</li> </ul>	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>・到達目標・課題について、主体的に取り組むことができ、他の教科で学修した内容を踏まえて毎回の学修ノートにまとめて記述する。さらに、レポートにおいて、保育の基本理念や自身の見解を保育者として論理的な文章で論じることができる。</li> <li>・提出物の期限を守り、学ぶ意欲・講義内での挙手・発言等において、発信力を意識した積極的な姿勢を心がけている。</li> </ul> 総合評価：90点以上 S(秀) 89点～80点A(優)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レポートにおいて、保育の基本理念を理解し保育者を意識した文章で論じることができる。</li> <li>・毎回の学修ノートがまとめられており、課題提出ができ、講義内での挙手・発言において努力する姿勢を心がけている。</li> </ul> 総合評価：79点～70点 B(良) 69点～60点 C(可)

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 序章 保育内容総論とは何かを学ぶ 第1章 保育内容の歴史の変遷について理解する	自己紹介 質疑応答 講義	保育内容総論での学びは何かを理解することができる。 わが国の保育内容の歴史の流れを知り、どのように変化してきたのかを理解することができる。	(予習) ・テキストP9～P13, P15～P30を読んでおく。 (復習) ・保育内容総論での学びは何かをまとめる。 ・保育内容の歴史の変遷について理解した内容をまとめる。	45	働きかけ力 創造力 傾聴力 規律性
2	第2章 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領がひもとく保育内容について理解する。	講義 前回の学修について質疑応答しフィードバックする。	それぞれの保育内容について述べるができる。	(予習) ・テキストP31～P50を読んでおく。 (復習) ・それぞれの保育内容についてを述べ、まとめる。	45	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
3	第3章 子どもと保育内容 1節子ども理解 2節子どもの発達と生活	講義 前回の学修について質疑応答しフィードバックする。	子ども理解について大切なことを理解することができる 子どもたちの日常生活全体を捉える視点が欠かせないと言うことができる。	(予習) ・テキストP51～P59, P60～P74を読んでおく。 (復習) ・演習ワーク1と2 ・子ども理解について大切なことは何かをまとめる。 ・子どもたちの日常生活全体を捉える視点が欠かせない理由をまとめる。	45	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
4	第3章 子どもと保育内容 3節子どもを取り巻く環境 4節子どもと遊び	講義 前回の学修(演習ワーク)についてディスカッションし質疑応答しフィードバックする。 ディスカッションした内容・学んだことを書き提出する。 グループディスカッションと発表	子どもを取り巻く環境を理解する上で、園での保育内容の展開のあり方について考えることができる。	(予習) ・テキストP75～P82, P83～P94を読んでおく。 (復習) ・演習ワーク3と4 ・子どもを取り巻く環境を理解する上で、園での保育内容の展開のあり方についてまとめる。 ・子どもと遊びについてまとめる。	45	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
5	第4章 領域と保育内容 1節「健康」と保育内容 2節「人間関係」と保育内容	講義 前回の学修(演習ワーク)についてディスカッションし質疑応答しフィードバックする。 ディスカッションした内容・学んだことを書き提出する。 グループディスカッションと発表	子どもは園生活を通して5領域(健康・人間関係)に示されているねらいや内容をバランスよく身につけていくことが大切だと理解することができる。	(予習) ・テキストP95～P103, P104～P112 を読んでおく。 (復習) ・演習ワーク5と6 ・5領域(健康・人間関係)に示されているねらいや内容をまとめて書く。	45	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
6	第4章 領域と保育内容 3節「環境」と保育内容 4節「言葉」と保育内容	前回の学修(演習ワーク)についてディスカッションし質疑応答しフィードバックする。 ディスカッションした内容・学んだことを書き提出する。 グループディスカッションと発表	子どもは園生活を通して5領域(環境・言葉)に示されているねらいや内容をバランスよく身につけていくことが大切だと理解することができる。	(予習) ・テキストP113～P121, P122～P129を読んでおく。 (復習) ・演習ワーク7と8 ・5領域(環境・言葉)に示されているねらいや内容をまとめて書く。	45	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
7	第4章 領域と保育内容 5節「表現」と保育内容 6節 保育者の専門性	前回の学修(演習ワーク)についてディスカッションし質疑応答しフィードバックする。 ディスカッションした内容・学んだことを書き提出する。 グループディスカッションと発表	子どもは園生活を通して5領域(表現)に示されているねらいや内容をバランスよく身につけていくことが大切だと理解することができる。 保育者の専門性とは何か? 養護と教育が一体となって展開する保育について理解することができる。 *学修ノート提出日(第1回目～第6回目)	(予習) ・テキストP130～P136, P137～P146 を読んでおく。 (復習) ・演習ワーク9と10 ・5領域(表現)に示されているねらいや内容をまとめて書く。 ・保育者の専門性とは何かをまとめて書く。	45	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
8	第4章 領域と保育内容 7節 保育内容の総合的な展開	前回の学修(演習ワーク)についてディスカッションし質疑応答しフィードバックする。 ディスカッションした内容・学んだことを書き提出する。 保育で実践できるアイデア作品を制作する。(折り紙制作) 5点満点	養護と教育が一体となって展開する保育について理解することができる。 保育で実践できるアイデアを考え制作する。	(予習) ・テキストP147～P150を読んでおく。 ・折り紙制作のアイデアを考えてくる。(材料を準備する) (復習) ・養護と教育が一体となって展開する保育についてまとめて書く。	45	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	第5章 保育者の役割と保育内容 1節 気になる子どもの支援	講義 前回の学修についてディスカッションし質疑応答しフィードバックする。 グループディスカッションと発表	子ども支援について保育者に求められる役割とは何かを理解することができる。	(予習) ・テキストP151～P165を読んでおく。  (復習) ・演習ワーク11 ・子ども支援について保育者に求められる役割とは何かをまとめて書く	45	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
10	第5章 保育者の役割と保育内容 2節 保護者との連携	前回の学修(演習ワーク)についてディスカッションし質疑応答しフィードバックする。 ディスカッションした内容・学んだことを書き提出する。 グループディスカッションと発表	保育者がどのような場面で、どのようなことを配慮して保護者との連携に努めているのかを理解することができる。	(予習) ・テキストP166～P179を読んでおく。  (復習) ・演習ワーク12 ・保育者がどのような場面で、どのようなことを配慮して保護者との連携に努めているのかをまとめて書く	45	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
11	第5章 保育者の役割と保育内容 3節 幼保小の連携	前回の学修(演習ワーク)についてディスカッションし質疑応答しフィードバックする。 ディスカッションした内容・学んだことを書き提出する。 グループディスカッションと発表	幼保小の連携における保育者の役割について考えることができる。	(予習) ・テキストP180～P189を読んでおく。  (復習) ・演習ワーク13 ・幼保小の連携における保育者の役割についてまとめて書く	45	主体性 働きかけ力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
12	第5章 保育者の役割と保育内容 4節 家庭・地域・関係機関との連携	前回の学修(演習ワーク)についてディスカッションし質疑応答しフィードバックする。 ディスカッションした内容・学んだことを書き提出する。 グループディスカッションと発表	園が保護者・家庭をはじめ地域の人々や関係する機関などと連携することが、子どもたちにとってどのような意義をもつのかを考えることができる。	(予習) ・テキストP190～P198を読んでおく。  (復習) ・演習ワーク14 ・園が保護者・家庭をはじめ地域の人々や関係する機関などと連携することが、子どもたちにとってどのような意義をもつのかをまとめて書く。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	これからの保育内容の課題について	講義 ・小テスト・レポート ・DVD視聴 ・前回の学修(演習ワーク)についてディスカッションし質疑応答しフィードバックする。 ディスカッションした内容・学んだことを書き提出する。	特別な保育ニーズが必要となる子どもの保育を考えることができる。  *学修ノート提出日(第7回目～第12回目)	(予習) ・事前に配布したプリントを読んでおく。  (復習) ・特別な保育ニーズが必要となる子どもの保育についてをまとめて書く。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
14	諸外国の保育所・幼稚園の保育内容・世界の動向について興味を持ちその違いを知る	講義 前回の学修について質疑応答しフィードバックする。 モンテッソーリ教具に触れる	世界の教育・保育を知ることで、日本の保育の特徴は何かを考えることができる。	(予習) ・事前に配布したプリントを読んでおく。  (復習) ・世界の教育・保育を知ることで、日本の保育の特徴は何かをまとめて書く。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
15	保育内容総論まとめ	講義(オンデマンド)	保育内容総論で何を学んだかを自分なりに記述することができる。	(予習) ・保育内容総論で何を学んだのかを学修ノートを見直しまとめる。  (復習) ・15回の授業を振り返りまとめる。	45	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力